

愛難連

URL <http://www.ainanren.org/>

第 128 号

発行人

NPO法人愛知県難病団体連合会

〒453-0041

名古屋市中村区本陣通 5-6-1

地域資源長屋なかむら 101

TEL 052-485-6655

FAX 052-485-6656

E-Mail:ainanren@true.ocn.ne.jp

- **RDD2026 in 名古屋大学医学部附属病院**
のお知らせ
- **令和7年度愛知県・名古屋市への要望**
について話し合いの報告

RDD2026 in 名古屋大学医学部附属病院のお知らせ……………	P 2 ~ P 4
令和7年度愛知県・名古屋市への要望について話し合いの報告…	P 5 ~ P 11
他科の薬や検査値のチェックがあなたの体を守る……………	P 12 ~ P 14
株式会社 スギ薬局 在宅調剤センター名古屋北店 薬剤師 平井 孝典様からのご寄稿	
広告 スギ薬局 ホームケアアライアンス GAROHOME 鶴舞 ナゴヤロボケアセンター久屋店 パリアティブケアホーム ……………	P 15 ~ P 18

財団法人愛知難病救済アマチン基金のご協力で発行しています

新しい RDD2026 当日企画にご期待ください

今年は名古屋大学医学部付属病院で開催します

これまでの RDD は「市民むけ啓発活動」として、かつて地下鉄栄駅コンコースにあった「学生ひろば」、金山駅通路、金山南ビル 1F ロビー、ナディアパークなどで難病啓発パネル展示をメインとして開催してきました。

金山南ビルロビーでは名古屋市立大学学生サークル発表や患者会体験発表など、楽しく、盛り上がる企画もおこなってきました。

今年は、医療関係者や、患者さんにも参加いただきたいと考え、名古屋大学大学院医学系研究科長の勝野先生にご協力をお願いしたところ、快諾いただき、講堂をお借りし、名古屋大学医学部付属病院との共催とすることにもつながりました。

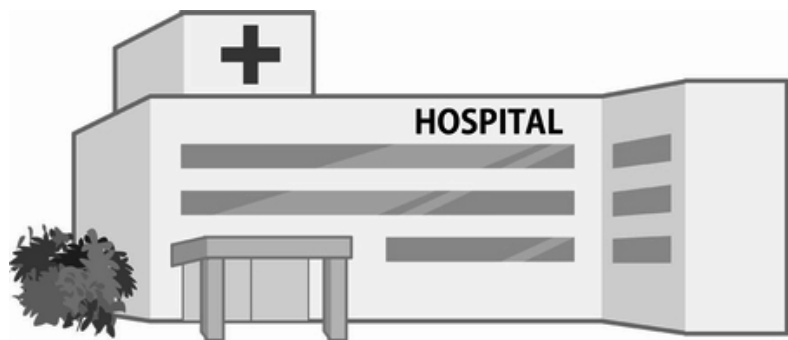
難病啓発パネル展示だけでなく、患者会や患者当事者が困っていることや、日頃感じていることなどを市民を交えて交流する「交流スペース」を企画しています。

愛難連役員だけでなく、毎年開催している愛難連ピアサポーター養成講座を受講をされた方、以前の「難病何でも相談会」に参加いただいた社会保険労務士、MSW の皆さんにもご協力をよびかけます。

充実した 1 日となるよう企画を改善しながら、準備していきます。

ご都合をつけてご参加ください。

愛難連事務局 牛田



本企画の運営を担当することとなり、準備を進める中で改めて多くのことを考えさせ

られました。これまで RDD では、パネル展示を中心に啓発活動を行い、患者会の活動や支援制度を広く紹介してきました。それは大切な取り組みであり、確かな手応えも感じてきました。一方で、「より多くの方に届くためには何ができるだろうか」「医療現場とのつながりを、さらに深められないだろうか」という思いもありました。

今回の RDD2026 では、名古屋大学医学部付属病院の難治性疾患に関わる各センターの取り組みをご紹介いただけることとなり、これまでとは一歩進んだ内容になります。患者・家族だけでなく、医療関係者の皆さまにも広く知っていただき、地域の医療資源や支援体制を“見える化”する機会になればと願っています。大学病院の取り組みと患者会活動が交わることで、新たな対話や連携が生まれるのではないかと期待しています。

また、今回は交流スペースも設けます。情報を得るだけでなく、立場を越えて語り合い、笑い合える時間こそが RDD の原点ではないでしょうか。皆さまの中に「こんな企画があれば」「こんな形で交流できたら」というアイデアがございましたら、ぜひお寄せください。ともに考え、ともに創り上げる RDD にしていきたいと思ひます。

NPO 法人ひだまりねっと 土屋雅彦

ともに、すごす。
ともに、つくる。
ときに、わらう。



Rare Disease Day
Ready,
Dialogue and
Discovery

毎年2月最終日は世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day/RDD)

レアディゼイズデー

RDD
(アールディディ)
ってなあに？

世界中の希少・難治性疾患の患者数をあわせると3億人と推定されます。しかし、一疾患ごとの患者数が少ないため病気についてわからないことも多く、診断機会や治療法、関係者や周囲からの理解などが不足している現状があります。

世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day, RDD) は、世界中の希少・難治性疾患の患者さんやご家族にとって、より良い診断や治療による生活の質 (QOL) の向上を目指す活動です。
うるう年の「Rareな日」にあわせ、毎年2月

最終日が定義日となっています。2008年からヨーロッパでスタートした本領域世界最大の社会啓発イベントであり、日本でもその趣旨に賛同して2010年から全国で開催し、患者や家族同士、関係者らがつながる機会をつくっています。

RDD2026 in 名古屋大学医学部附属病院



専門センターの紹介・難病啓発パネル・患者会資料展示

入場無料 参加自由

図書館での難病書籍コーナー

日時 **4/21** (火)
13:00~18:00

15:30~16:30
★難病専門センター
による講演

場所 名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟 A 3階講堂

愛知県図書館 2/13(金)~2/26(木)
名古屋市
鶴舞中央図書館 2/21(土)~3/19(木)

主催: NPO 法人愛知県難病団体連合会 共催: 名古屋大学医学部附属病院・財団法人愛知難病救済アマチン基金

ともに、すごす。
ともに、つくる。
ときに、わらう。



RDD
2026

Rare Disease Day

Ready,
Dialogue and
Discovery

RDD2026 in 名古屋大学医学部附属病院

専門センターの紹介・難病啓発パネル・患者会資料などの展示

入場無料 参加自由

15:30

~

16:30

- ・パーキンソン病総合医療センター
- ・炎症性腸疾患治療センター (IBD センター)
- ・神経線維腫症総合医療センター
- ・てんかんセンター

難治性疾患診療部の各センターの役割や診療・支援体制

日時

4/21 (火)

13:00~18:00

場所

名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟 A 3 階講堂



図書館にて
難病書籍展示

愛知県図書館 2/13(金)~2/26(木)
名古屋市
鶴舞中央図書館 2/21(土)~3/19(木)

主催：NPO法人愛知県難病団体連合会
共催：名古屋大学医学部附属病院
財団法人愛知難病救済アマチン基金



後援：愛知県医師会・愛知県・名古屋市・中日新聞社・中日新聞社会事業団
東海テレビ福祉文化事業団・愛知県医療ソーシャルワーカー協会
愛知県理学療法士会・愛知県作業療法士会・愛知県言語聴覚士会



令和7年度愛知県・名古屋市への要望について話し合いの報告

愛知県と名古屋市あてに、令和6年11月18日付で要望書を提出し、愛知県からは令和8年1月21日付で、名古屋市からは令和7年12月23日付で回答いただきました。

愛知県・名古屋市との話し合いは、令和8年2月10日（火）に開催しました。愛難連からの参加者は20人でした。

当日話合った要望・回答を紹介します。

要望・回答の全文は愛難連ホームページを参照ください。

令和7年度 愛知県への要望事項と回答

- ◎ 要望2 難病患者・家族に実情に即した実効性のある個別避難計画策定を進めてください。個別避難計画策定の市町村の進捗状況をどのように把握しておられるか、どう進められようとしているのかご説明ください。

併せて県内市町村の発電機・蓄電池及びバッテリーの購入補助拡大に協力ください。
地域単位での「電源サポート拠点」づくりの支援をお願いいたします

個別避難計画は立案のみでなく、「訓練」や具体化実践、それらの交流を通じて、実践的効果を高めるものにすることが求められます。（R6年難病講習会）

防災対策は課題ごとに担当する行政部署が異なり、縦割り行政となっていると思われます。各部署の「連携・共同」を強めてください。サポートいただく専門職の教育や、経験交流が求められます。

人工呼吸器や吸引器など装着する神経難病患者にとって、電源確保は命綱です。

地震や停電などの災害時に電力が獲得できるかは、極めて重要な課題です。

愛知県や名古屋市は、発電機、外部バッテリーの給付事業の促進にご尽力いただいております。県内市町の給付事業が100%に達するまで、御支援をお願いいたします。

また、地域単位での「電源サポート拠点」づくりの支援をお願いいたします。

災害時、自宅で避難している呼吸器装着患者は、市町から給付された補助バッテリー、発電機により命をつないでいます。よって、そこには電源リレーのシステムが必要です。

企業との協働プロジェクトを推進CSR（社会貢献活動）している市町もあるようですので、愛知県でも難病患者を地域で守る「電源サポート拠点」づくりの応援をお願いします。

【回答】 地域福祉課 福祉活動支援グループ

避難行動要支援者の個別避難計画の策定状況については、令和7年4月1日現在、県内で、全部策定済みが3市町、一部策定済みが51市町村となっております。

個別避難計画の策定は市町村が実施主体であるため、愛知県では、個別避難計画の策定についての注意事項等をまとめた「市町村のための災害時要配慮者支援体制構築マニュアル」を作成し周知することにより、市町村の計画策定を促進しています。

また、市町村の防災担当部署及び福祉担当部署の職員を対象とした研修を防災安全局と共催することで、市町村の計画策定を促進するとともに、各部署の「連携・共同」を働きか

けております。

今後も国の調査等を通じて市町村の進捗状況を把握するとともに、マニュアルの周知や研修の開催により、市町村が実効性のある個別避難計画を策定できるよう支援してまいります。

【回答】 障害福祉課 地域生活支援グループ

日常生活用具の給付・貸与につきましては、実施主体は市町村と定められており、各市町村の地域の特性や個々の利用状況・ニーズを基に給付対象となる品目を定めることとしておりますが、毎年度、各市町村における日常生活用具給付等事業の給付項目について調査しており、調査結果を各市町村に対して県内の実施状況として情報提供することにより、各市町村に対して働きかけを行っております。

令和7年度の県内各市町村の実施状況につきましては、「発電機」を対象としている市町村は36市町村、「人工呼吸器用バッテリー」を対象としている市町村は28市町村、「外部バッテリー」を対象としている市町村は36市町村となっており、いずれも昨年度より増加しております。

	発電機	バッテリー（人工呼吸器）	外部バッテリー
令和6年度	30市町村	24市町村	29市町村
令和7年度	36市町村	28市町村	36市町村

【回答】 医務課 医務グループ

医務課では在宅人工呼吸器患者が、災害時に医療機関から簡易自家発電装置等を借りて人工呼吸器を使用できるように補助を行っております。今後も、こうして補助事業者を通して多くの難病患者が発電装置等を利用できるように努めてまいります。

【回答】 災害対策課 市町村支援グループ

市町村の福祉避難所に備える発電機や蓄電池等の購入に対して、県は南海トラフ地震等対策事業費補助金により、市町村に対し財政支援を行っております。

今後も引き続き市町村における防災対策の支援ニーズを把握しながら、必要に応じて制度を見直しながら対応していきたいと考えております。

◎ 要望4 難病患者の就労支援を強めてください。

難病患者就職サポーター複数配置・正規職員配置を国に働き掛けてください

難病患者が仕事を続けられず、孤立や生活不安を抱えていく現状があります。

難病関連セミナーなどで「就労支援」が取り上げられることが多くなっています。

2025年10月3日「今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会」が開催され、障害者法定雇用率に障害者手帳を所持していない難病患者を含める方向で検討を進めることが示されました。

難病患者の就労促進に向けて支援いただける組織は多くなっていますが、「相談窓口」としての理解が進んでいないように受け止められます。改善が求められます。

ハローワークの難病サポーターは東京都・大阪府・北海道・神奈川県 of 4都道府県です。すでに複数配置が実施されています。人口からみても愛知県での複数配置は必要です。難病患者にとって有効な制度であり、安定的な利用継続できるためにも正規職員配置が必要です。国への働きかけをお願いします。

【回答】 就業促進課 高齢者・障害者雇用対策グループ

本県では、愛知労働局がハローワーク名古屋中に難病患者就職サポーター1名を配置し、愛知県医師会が実施している難病支援相談センターへの出張相談や、愛知医科大学病

院や名古屋大学病院をはじめとした県内14カ所の難病相談の拠点病院への出張相談を行うなど、就職を目指す難病患者の支援を行っています。

愛知労働局によると、難病患者就職サポーターの複数配置及び正規職員配置はできていない状況ですが、昨年度から勤務日を15日から20日に増加し対応しており、今年度からは、配置先をハローワーク名古屋中の障害者窓口から、利用者数の多い一般求職者窓口に変更したほか、県内ハローワークへのお出張相談も実施しているとのこと。

加えて、難病患者就職サポーターが、ハローワーク職員に対して難病患者への対応に関するアドバイスや情報提供等を行うなど、県内ハローワークとの連携強化が図られています。

県としましては、国に対して、若者、高齢者、難病患者を含む障害者、外国人等「多様な人材が、社会経済の担い手として活躍するために必要となる支援に国が責任を持って取り組むこと」を要望し、「難病患者など様々な障害に対応できるよう地域の障害者雇用支援の実態に即した人員の配置等が必要」として働きかけを行っているところです。

ご指摘のとおり、本県の人口規模は、総務省統計局の2024年10月1日現在の都道府県別人口によると、東京、神奈川、大阪に次いで4番目であり、人口比率からも多くの難病患者がお住まいであること、難病治療をしながら就職活動を行っている方が多くおられることが推測されますので、適切な人員配置のため、引き続き、国に対して働きかけてまいります。

◎ 要望13 障害者手帳取得から調査、区分支給認定、障害訪問介護までの期間が2~3ヶ月と長い
ため、介護保険と同じく申請をした段階から暫定で使用できるようにしてください。

障害訪問介護を受けるまでの期間が著しく長くかかるため、その間の介護が厳しい状況です。介護保険と同じく申請した段階から暫定で利用開始できるような仕組みの構築をお願いします。

実際にサービス実施までの期間は短縮されたのでしょうか。昨年は、緊急その他やむを得ない場合には、支給決定に至る前から指定障害福祉サービスの提供を受けることが可能（特例介護給付費）と説明いただきましたが、その事例は増えたのでしょうか。

【回答】 障害福祉課 地域生活支援グループ

国の定める事務処理要領において、支給決定までの主なプロセスとして定められており、各市町村における事務手続の所要時間の詳細は把握しておりませんが、一定程度の時間を頂戴せざるを得ないものと認識しております。

そして、事務手続完了前における緊急やむを得ないサービス利用として、特例介護給付費という制度がございます。

特例介護給付費の支給決定につきましては、現在、県内市町村に直近の実例を照会しております。実例を収集し、結果を取りまとめたくうえで市町村に情報提供を行う予定です。

◎ 要望15 「透析施設」「在宅訪問診療」に係る燃料費（ガソリン代）の助成をお願いします。

透析患者の高齢化が顕著で自力通院の困難者が各施設約60%前後となっており、施設の送迎に頼っています。燃料費（ガソリン代）が高止まりしている中で、施設の送迎が困難になりつつあります。

【回答】 医務課 医務グループ

2025年11月21日に閣議決定された『「強い経済」を実現する総合経済対策』において、国は、医療施設に対するエネルギー価格等の物価高騰に対する支援に向けて「重点支援地方交付金」の活用を示しているところであり、本県においても12月補正予算を計上し、透析患者送迎を実施する医療機関及び訪問診療を実施する医療機関への支援を予定しています。

◎ 要望16 地下鉄名古屋城駅から県庁本庁舎、西庁舎、自治センターへの地下通路に視覚に障害のある人の安全な歩行を助けるための点字ブロックを設置してください。

名古屋市役所通路には設置されています。

【回答】 財産管理課 庁舎管理グループ

現状、地下鉄名古屋城駅から県庁本庁舎等へは地上経由のルートに点字ブロックを設置しております。地下通路への点字ブロック設置については、いただいたご意見を踏まえ、今後の長寿命化改修等を踏まえて、検討をまいります。

以上

令和7年度 名古屋市への要望事項と回答

◎要望1 難病患者・家族に実情に即した実効性のある個別避難計画策定を進めてください。

個別避難計画策定の名古屋市の進捗状況を説明ください。

在宅人工呼吸器使用者非常用電源補助事業の利用状況を教えてください。

令和7年3月7日の市議会本会議にて大島ひでひろ議員の質問への健康福祉局長の答弁のその後の状況を教えてください。

地域単位での「電源サポート拠点」づくりの支援をお願いいたします。

昨年報告いただいた「6区で福祉事業者と連携しながらモデル事業」結果の概要を教えてください。

非常用電源の購入補助を人工呼吸器装着者だけでなく、たん吸引器や酸素濃縮器などの在宅で電気式の医療機器使用者にも拡大する件及び現況やニーズ把握のための実態調査についての検討状況をご説明ください。

人工呼吸器や吸引器など装着する神経難病患者にとって、電源確保は命綱です。

地震や停電などの災害時に電力が獲得できるかは、極めて重要な課題です。

愛知県や名古屋市は、発電機、外部バッテリーの給付事業の促進にご尽力いただいております。引き続き御支援をお願いいたします。

また、地域単位での「電源サポート拠点」づくりの支援をお願いいたします。

災害時、自宅で避難している呼吸器装着患者は、市町から給付された補助バッテリー、発電機により命をつないでいます。よって、そこには電源リレーのシステムが必要です。

企業との協働プロジェクトを推進 CSR（社会貢献活動）している市町もあるようですので、名古屋市でも難病患者を地域で守る「電源サポート拠点」づくりの応援をお願いします。

【回答】 防災危機管理局

本市の個別避難計画作成事業については、要介護度や障害の程度などが一定以上の自力避難が非常に難しい方のうち、災害の危険が高い地域にお住まいの方を優先対象者と

して、令和5年度は南区、令和6年度は北区、中川区、港区、南区、守山区、緑区の6区、令和7年度は全区において福祉事業者と連携しながらモデル事業を実施しています。

また、作成した計画は対象者本人の同意を得たうえで地域等の関係者と共有し、防災について話し合う場を活用して避難対策について検討するなど、地域防災力の向上に繋がる取り組みをしております。

令和6年度については、351件の個別避難計画が作成されましたが、そのうち181件について福祉事業者のご協力により作成されております。

今後も福祉事業者のご協力をいただきながら個別避難計画作成事業を進めてまいります。

【回答】健康福祉局

在宅人工呼吸器使用者非常用電源装置購入補助事業の実績については、令和6年度は63件、そのうち発電機は14件、蓄電池は49件、カーインバーターは0件であり、令和7年度は令和7年11月末時点で33件、そのうち発電機は2件、蓄電池は30件、カーインバーターは1件となっております。

本事業の検討状況については、令和7年9月に他都市調査を実施したところ、政令指定都市20都市のうち、5都市で人工呼吸器装着者以外の電気式医療機器の使用者への給付が行われていることを確認しました。

また、令和元年度に実施した医療的ケア児等実態調査においても、人工呼吸器装着者以外の電気式医療機器を使用する方々の非常用電源のニーズを把握しているほか、令和7年度の医療的ケア児等実態調査においても、非常用電源のニーズの把握に努めているところです。

こうした状況を踏まえ、本事業の内容について、今後も引き続き検討してまいりたいと考えております。

◎要望9 告知を受けた難病患者が受けられる福祉サービスなどの相談ができる環境を整えてください

相談支援専門員が足りず待機一年半待ち？という、福祉サービスを利用する以前の問題があるとの声をお聴きし地域格差に驚きを隠せません。皆が地域において生活の質を上げ心豊かに安全安心な日々の暮らしのため地域差なく人員確保に迅速な対応をお願いします。

各地域の障害利用者数に対して相談支援専門員数の実態把握はどうなっているでしょうか。説明ください。

実際にサービス決定までの期間は短縮されたのでしょうか。

【回答】健康福祉局障害企画課・障害者支援課

本市では、各区保健センターにおける保健師による相談体制や、特定医療費受給者証申請窓口である区役所福祉課及び支所区民福祉課において、各種サービスのご案内を行っているところです。

地域での障害福祉サービスの相談に十分対応するため、相談支援事業所の充実が必要と考えており、国に対し適切な報酬体系とするよう要望しているところです。また、市独自に実施しております相談支援事業補助制度により、事業所数及び相談支援専門員数の増加を図っているところです。

また、市内16区に障害者基幹相談支援センターを設置しており、障害種別を問わず総合的な相談に応じているところです。

相談件数の増加や内容の複雑化に対応するため、令和6年度より、各区1名ずつ増員し体制を強化したところでありますが、今後も障害者基幹相談支援センターが地域の相談支援体制の中核的な役割が発揮できるよう、その充実、強化に努めてまいります。

計画相談支援事業所および相談支援専門員数については令和5年度末で226ヶ所、471人、令和6年度末で237ヶ所、492人（非常勤含む、届け出に基づく数値）となっております。

「利用申請から障害支援区分認定までの期間の短縮」については、非常に重要な課題として認識しており、令和7年度より認定事務の効率化担当の課長補佐を配置し、改善に向けて継続的に検討しております。

**◎要望11 障害者手帳取得から調査、区分支給認定、障害訪問介護までの期間が2~3ヶ月と長い
ため、介護保険と同じく申請をした段階から暫定で使用できるようにしてください。**

障害訪問介護を受けるまでの期間が長くなるため、その間の介護が厳しい状況です。介護保険と同じく申請した段階から暫定で利用開始できるような仕組みの構築をお願いします。

「認定調査の委託先の拡充」「利用申請から障害支援区分認定までの期間の短縮」は改善されたのでしょうか。

緊急その他やむを得ない場合には、支給決定に至る前から指定障害福祉サービスの提供を受けることが可能（特例介護給付費）と説明いただきましたが、その事例は増えたのでしょうか。

【回答】健康福祉局障害者支援課

介護保険においては、要介護認定について申請日まで遡って適用できる旨の規定がありますが、障害福祉サービスにおいてはそういった規定がないことから、申請後すぐの利用は困難となっております。

「利用申請から障害支援区分認定までの期間の短縮」については、非常に重要な課題とし認識しており、令和7年度より認定事務の効率化担当の課長補佐を配置し、改善に向けて継続的に検討しております。また、「認定調査の委託先の拡充」は、令和7年10月より開始し、令和8年度にはさらに拡大を予定しています。

緊急性が高い場合（介護者の死亡・急病等）は、特例介護給付費によりサービスを受給することが可能な場合があります。特例介護給付費の決定については、各区役所・支所で必要性を判断し決定しております。ご利用者様の置かれている環境等個別に判断しておりますので、件数は例年異なります。

**◎要望12 重度障害者移動（訪問）入浴サービス利用の年齢制限記載をなくしてください。
前年要望時からの検討状況を教えてください。**

在宅療養している患者にとって入浴は必要です。名古屋市では重度障害者移動入浴サービスが提供されていますが、対象者として「おおむね15歳以上」と記載されており、利用へのブレーキとなっています。

小学生といっても、家族介護者だけでは入浴させることが難しい、大きな身体の子どものもいます。

名古屋市として実態を把握し、重度障害者移動（訪問）入浴サービス利用の年齢制限をなくすようにしてください。

前年要望時からの検討状況を教えてください。

【回答】健康福祉局障害企画課

本市の重度障害者移動入浴事業では、「おおむね 15 歳以上」という目安を設けておりますが、15 歳未満であっても、15 歳の平均身長及び平均体重を超過している児童は対象者として認めております。

また、平均身長等を満たさない児童についても、区役所・支所が現地調査等を行った上で、身体的要件等を考慮して対象とすべきと判断すれば、15 歳未満での利用を認めております。

前年要望後に、他都市調査を行い、政令指定都市 20 市のうち、9 市において年齢制限を設けていないことを把握しております。

今後も引き続き、利用実態や他都市の状況等を確認しながら検討してまいります。

以上

他科の薬や検査値のチェックがあなたの体を守る

株式会社 スギ薬局 在宅調剤センター名古屋北店

薬剤師 平井 孝典

はじめに

私の所属する在宅調剤センターでは主に自宅で療養されている方へ訪問して服薬指導や支援を行っています。医師の訪問診療に同行し、お薬の安全性をチェックしたり、医師の処方内容の相談に乗ったりすることも大切な業務です。最近では、多くの薬を服用することで副作用などのトラブルが起こる「ポリファーマシー」を防ぐことが、私たち薬剤師の重要な役割となってきています。今回は、ある患者さんの事例を通して、その重要性をお伝えします。

事例①：別の病院でもらった「同じ働きのお薬」の重複を防ぐ

この患者さんはパーキンソン病の治療を中心に在宅医療をうけていましたが、3か月に一度、皮膚科にも通院されていました。

ある時、過去の骨折の影響から腰や肩の痛みが発生したため、主治医が痛み止め（セレコキシブ）と、胃酸を抑えるお薬（エソメプラゾール）の処方が検討されていました。しかし私は、以前の聞き取りから、この方が皮膚科ですでにボノプラザンという「同じ働きの胃薬」を処方されていることを知っていました。すぐに医師へ報告したことで、処方が見直され、薬の飲みすぎ（重複投与）を未然に防ぐことができました。

【ここがポイント！】

胃薬には多くの種類があり、最近では病院でもらう薬と同じ成分のものが市販薬（スイッチ OTC 薬）としても売られています。複数の病院にかかっている場合や、自分で市販薬を買って飲んでいる場合は、必ず医師や薬剤師に伝えてください。思わぬ「薬の飲みすぎ」を防ぐことにつながります。

タケプロン S



出典：アリナミン製薬株式会社 HP

パリエット S



出典：エーザイ株式会社 HP

事例②：血液検査の数値から、体に合った薬へ調整する

同じ患者さんの別の日のエピソードです。医師から共有していただいた血液検査の結果からお薬の変更につながったケースです。

お薬を安全に使うために欠かせない指標の一つに、「腎機能」があります。腎臓はお薬を体の外へ出す役割をもっていますが、腎臓の働きが落ちていると薬が体に溜まりすぎて副作用が出やすくなることがあります。また、お薬が逆に腎臓に対して負担をかけてしまうこともあります。

この方の血液検査で腎臓が老廃物をろ過する能力を示す数値（eGFR）を確認したところ数値は「35」でした。事例①の痛み止め（セレコキシブ）はこの数値が「30未満」の場合は使用しない方がよいとされるお薬です。そのため、数値が35と低かったことから、その痛み止めを使い続けることはリスクが高いと判断し、腎臓への影響がより少ない「アセトアミノフェン」という痛み止めに変更を提案しました。

まとめ

薬剤師の本分は、単にお薬を用意することだけではありません。患者さんが安心・安全に治療を続けられるよう、あらゆる角度からチェックを行うことです。

薬局の窓口でも、ご自宅での在宅医療でも、私たちはあなたの「安心」のために全力を尽くします。気になることがあれば、どんな小さなことでも気軽にご相談ください。

【スギ薬局の在宅訪問薬剤師所属店舗一覧】

無菌 調剤	店舗名	郵便 番号	住所	T E L 番号
○	在宅調剤センター 下地店	440- 0083	愛知県豊橋市下地町操穴 39 番地 3	0532-21-9235
○	在宅調剤センター 安城店	446- 0021	愛知県安城市法連町 7 番地 10	0566-45-7525
-	在宅調剤センター 西三河店	446- 0026	愛知県安城市安城町東広畔 9 番地 1	0566-70-9272
-	在宅調剤センター 中川店	454- 0972	愛知県名古屋市中川区新家三丁目 1410 番地 第一村上ビル 1 階	052-526-7365
○	在宅調剤センター 名古屋緑店	458- 0910	愛知県名古屋市長区桶狭間森前 2903 番地	052-618-6512
○	在宅調剤センター 名古屋金山店	460- 0024	愛知県名古屋市中区正木四丁目 5 番 9 号 ナーシングホーム OASIS 金山 1 階	052-265-9712
-	在宅調剤センター 車道店	461- 0004	愛知県名古屋市長区葵二丁目 14 番 11 号	052-325-3871
○	在宅調剤センター 名古屋北店	462- 0033	愛知県名古屋市長区金田町三丁目 14 番地 1	052-325-7856
○	今池南店	464- 0851	愛知県名古屋市長区千種区今池南 1 番 13 号	052-715-6036
○	在宅調剤センター 原店	468- 0015	愛知県名古屋市長区天白区原五丁目 3006 番地 パルナス原 1 階	052-842-9350
○	在宅調剤センター 千種店	446- 0081	愛知県名古屋市長区千種区谷口町 5 番 3 1 号	052-799-7180
○	在宅調剤センター 宮町店	471- 0043	愛知県豊田市宮町五丁目 53 番地	0565-47-0705
○	在宅調剤センター 半田店	475- 0911	愛知県半田市星崎町三丁目 37 番 地の 1 星崎ビル 1 階	0569-84-2381
-	在宅調剤センター 一宮店	491- 0869	愛知県一宮市向山町二丁目 8 番地 2 東海向山ハイツ 1 階	0586-64-6241
○	在宅調剤センター 長久手荒田店	480- 1161	愛知県長久手市荒田 102 番地	0561-42-8017



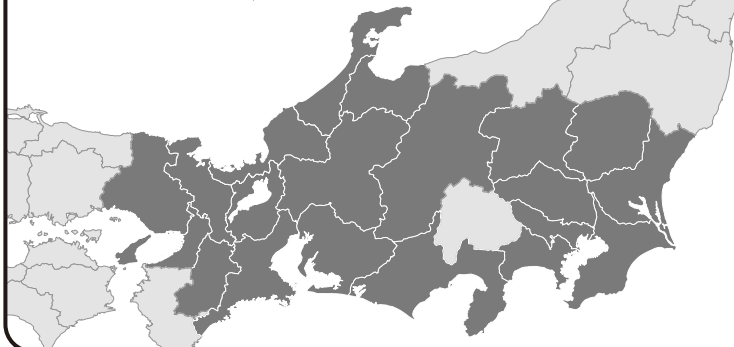
専門性の高い 薬剤師が 活躍しています

- 外来がん治療認定薬剤師
- 外来がん治療専門薬剤師
- 緩和薬物療法認定薬剤師
- 老年薬学認定薬剤師
- NST専門療法士
- 腎臓病療養指導士



関東・中部・北陸・信州・関西に出店エリア拡大中!

グループ合計 **1,600** 店舗突破!



在籍薬剤師数 **3,688**人

(2023年2月末現在)

地域連携薬局 **31**店舗

専門医療機関連携薬局 **3**店舗

医療モール・医療機関併設 **116**医療機関

(2023年6月末現在)



スギ薬局

詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.sugi-hd.co.jp/>

スギHD

検索



〒474-0011 愛知県大府市横根町新江62番地の1 TEL 0562-45-2700



プライベート訪問看護 を知っていますか？

プライベート訪問看護とは、

保険適用外の訪問介護・訪問看護を提供するサービスです。

保険適用の訪問介護・看護では、最大1回90分まで、1日3回訪問など多数の制限があります。

プライベート訪問介護・看護にはこのような制限がありませんので、

ご利用者様やご家族様の希望・叶えてあげたい事などのお手伝いを寄り添って行う事が出来ます。

1日だけの利用・曜日指定の定期利用・毎日利用などのご要望にもお応えできます。

夜間・長時間の見守り

旅行への付き添い

食事・排泄・入浴などの生活介助など

保険診療内では難しいサービスにも対応!!

介護者様にも自由な時間を。
ホームケアアライアンスの訪問看護は、
お客様の生活を快適にするための
パートナーです。

24時間365日対応 オンライン相談にも対応!

確かな経験と知識のあるスタッフが、症状・処置・介護の悩み相談など
「いつでも」「何でも」「何度でも」

あなたのお悩みに的確にお答えします。オンライン相談のみのご利用も可能です。



1時間利用 6500円(税込) 30分利用 3500円(税込)

オンライン相談のご利用 1ヶ月11000円(税込)

介護・看護のお悩み、1人で抱え込まずにご相談ください!

何でもお気軽にお問い合わせください。24時間365日受付中!

☎ 052-307-6185

mail: info@home-care-alliance.com



「がん・難病」 緩和ケア専門施設 GARO HOME 鶴舞

「私らしく、あなたらしく」生きていくご支援をいたします。



施設名：住宅型有料老人ホーム GARO HOME 鶴舞

施設住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞 2 丁目 12-24

【お問い合わせ先】 GARO 株式会社（ガロ カブシキカイシャ）

〒467-0813 本 社：名古屋市瑞穂区西ノ割町 2 丁目 32 番地の 1

【 GARO HOME でわかる 6 つのこと 】

1. 鶴舞駅近くでご家族もお越ししやすい環境
2. 全室 60 室個室（18 m²）トイレ、洗面所付
3. 訪問看護師 24 時間複数名常駐
4. 緩和ケアとリハビリからその人らしい生活を
5. 低料金で、料金をバリアフリー化
6. 助成制度のご案内・制度取得の積極的支援

【 大切にしたいこと 】

1. テクテク（動く、歩く等の動きを大切にします）
2. パクパク（しゃべったり、食べたりを大切にします）
3. ワクワク（楽しい気持ちを大切にします）
4. ニコニコ（痛みや苦しみなく、心から笑顔を）
5. ドキドキ（ときめく気持ちを大切にします）
6. イキイキ（イキイキできるようご支援します）



名古屋ロボケアセンター久屋店

可能性を信じてあきらめない
あなたの生活改善、社会復帰、サポートします

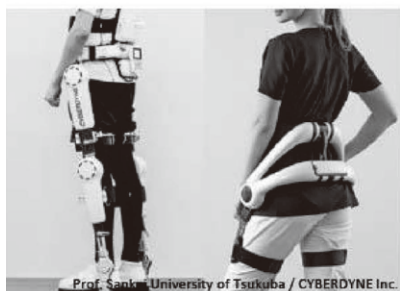
こんなことでお悩みの患者さん・利用者さんはいらっしゃいませんか？

歩きたい、立ちたい、座位を保持したい、
病後体力回復したい

脳性麻痺や神経難病などで身体をうまく
動かすことが難しい

身体機能の低下や、脊髄損傷、脳卒中
などの後遺症で悩んでいる

従来のリハビリで効果を感じなくなってし
まった



名古屋ロボケアセンター久屋店

〒460-0002

名古屋市中区丸の内3-4-2 4ウチビル5F

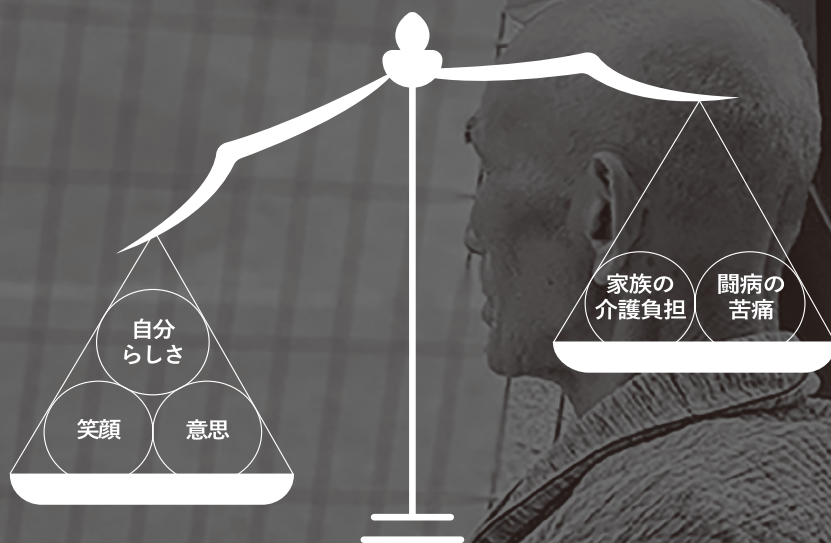
☎ 052-961-0700

✉ robocare@mail.nakakita.co.jp

🏠 <https://robocare-nagoya-hisaya.com/>



苦痛も負担も軽い方がいい。



要介護期を過ごすご本人の苦痛を緩和したい。
要介護期を支えるご家族の苦悩を解消したい。

その思いを実現させるため、パリアティブケアホームでは、24時間体制の訪問看護ステーションを併設し、多様な傷病や医療挿入物・医療処置に対応しています。各ホームで蓄積されたノウハウで、要介護期ケアに定評をいただいております。ご本人様らしい介護・看護の実現に努めています。



要介護期が幸せな場所

パリアティブケアホーム®

*全施設、土地・建物はオーナー様よりの賃貸物件です。



パリアティブケアホーム
ブランドサイトはコチラ

<https://palliative-care-home.com/>

パリアティブケアホームそらの春日井

〒486-0932
愛知県春日井市松河戸町3丁目8番地7
TEL：0568-37-3355
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームつきの小牧

〒485-0041
愛知県小牧市小牧5丁目315番地
TEL：0568-54-3891
種別：住宅型有料老人ホーム

パリアティブケアホームはなの楠根

〒577-0006
大阪府東大阪市楠根3丁目2番41号
TEL：06-7711-8165
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームゆきの彩都

〒567-0085
大阪府茨木市彩都あさぎ5丁目10番10号
TEL：072-640-5960
種別：サービス付き高齢者向け住宅

パリアティブケアホームほしの岸和田

〒596-0001
大阪府岸和田市磯上町1丁目3番29号
TEL：072-438-1565
種別：サービス付き高齢者向け住宅

運営



opsol 株式会社

〒519-0503 三重県伊勢市小俣町元町623番1
TEL：0596-21-0007

<https://opsol.co.jp/>
opsolグループ 検索

☆愛知県医師会・難病相談室のご案内☆

病気が長期にわたり、原因が不明、治療法が未確立というような疾患にお悩みの患者・家族の皆様にも、広くご利用いただくよう難病相談室を常設いたしております。治療や療養生活をはじめ、病気になったことで生ずる社会生活上の問題、例えば経済的な心配や職場復帰、学校生活、家庭生活、人間関係等のご相談にも応じています。お困りの方は、どうぞお気軽にご照会くださるよう申し上げます。

難病相談室は、愛知県における「難病相談・支援センター」としての役割を担い、相談事業を始めとし、各種事業を行っています。なお、詳細は下記へお問い合わせください。

(相談は無料、秘密は厳守されます)

◆相談医師(専門別)による医療相談

指定日の午後2時～5時(予約制)

対象疾患：①神経 ②感覚器(耳鼻・眼) ③膠原病 ④腎臓 ⑤循環器 ⑥消化器
⑦呼吸器 ⑧内分泌・代謝 ⑨血液 ⑩小児 ⑪骨・関節 ⑫心身
⑬血管外科 ⑭脳内外科

◆医療ソーシャルワーカーによる療養相談・生活相談

月曜日～金曜日 午前9時～午後4時まで

◆愛知県医師会 仮事務所内 難病相談室

〒455-0031 名古屋市港区千鳥一丁目13番22号

T E L (052) 241-4144 〒455-0031

編集後記 事務局のぼやき

突然の冬の総選挙で、衆議院の議員構成がガラリと変わってしまいました。がんや難病患者は「高額療養費」「OTC 類似薬」の改悪に反対の要望を提出していますが、この先どうなっていくのか不安です。

医療・福祉関連費用は「法定価格」です。赤字で疲弊している医療機関が多いという状況ですが、医療で2%ほどの改善は有効なのでしょうか。介護分野でも事業所の減少が続いており、ヘルパーなど「求人しても人が来ない」状況はこの先も続いていくのでしょうか。

人工多能性幹細胞(iPS細胞)由来の再生医療製品の製造販売承認が厚生労働省の専門部会で了承され、京都大iPS細胞研究所の山中伸弥教授は「マウスiPS細胞を発表してから20年という節目に、社会実装へ向けた大きな一歩を踏み出せたことを大変うれしく思う」とのコメントを出されました。久しぶりにうれしいニュースでしたが、薬価が1,000万円と聞くと大丈夫か…とも思えます。

今年も愛知県・名古屋市との話し合いをしました。愛知県は地下鉄名古屋城駅から県庁をつなぐ通路に視力障害者の歩行を助ける点字ブロックの設置について、「今後の改修」を回答いただきましたが、アジアパラも近づいているのですから「せめてこれくらいはやって」と…

名古屋市から「宿泊施設のバリアフリーに関する手引」について問い合わせがありました。車いすユーザーが利用できる宿泊施設がどこにあるかは誰に聞けばよいのでしょうか。

(事務局 牛田)

愛 難 連 の 難 病 相 談

電話連絡先 : 052-485-6655
FAX : 052-485-6656 (FAXは24時間)
相談日: 月曜日～金曜日 10:00～16:00

～ あなたの声を聞かせてください ～

愛難連では、難病患者さんやそのご家族の方々が、住み慣れた場所で安定した療養生活を送っていただけるように、保健・医療・福祉等の関係機関と連携を図りながら活動しています。
私達は、患者同士の「支え合い」「助け合い」を重視しており、そのきっかけをお手伝いすると共に、その輪を社会へと広げ、より良い社会生活を送れるように努めています。一人で悩まず、お気軽にお電話下さい。あなたの声が、同じ病気で苦しむ仲間の力になるかも知れません。

◀ 加盟団体一覧 ▶

全国筋無力症友の会 愛知支部

(TEL・FAX) 0569-22-5122 小林宅

一般社団法人 愛知県腎臓病協議会

(TEL) 052-228-8900 事務所

愛知県筋ジストロフィー協会

(TEL) 080-2613-9022 大島宅

日本二分脊椎症協会 東海支部

(Mail) happi-sbaj@memoad.jp

全国パーキンソン病友の会 愛知県支部

(TEL) 052-622-9585 深谷宅

愛知県肝友会

(TEL) 0568-82-7492 水上宅

愛知心臓病の会

(TEL) 090-5631-1678 牛田宅

愛知低肺機能グループ

(TEL・FAX) 052-872-3559 近藤宅

ベーチェット病友の会 愛知県支部

(TEL) 0564-74-1611 森田宅

つぼみの会愛知・岐阜 愛知支部(1型糖尿病)

(Mail) <https://www.aichi-gifu.iddm.jp/> 問合せ

日本 ALS 協会愛知県支部(筋萎縮性側索硬化症)

(TEL・FAX) 052-483-3050 事務所

愛知県網膜色素変性症協会(JRPS愛知)

(TEL) 090-7956-1070 新井宅

口唇口蓋裂を考える会(たんぽぽ会)

(TEL) 090-7048-1387 横田宅

東海脊髄小脳変性症友の会

(Mail) tokaiscd5224@gmail.com

もやの会(もやもや病の患者と家族の会)

(TEL) 052-895-4907 奥田宅

愛知県脊柱靭帯骨化症患者・家族友の会(あおぞら会)

(TEL) 0564-31-2848 林宅

日本マルファン協会(マルファン症候群)

(TEL) 050-5532-6503 大柄宅

プラダー・ウィリー症候群児・者親の会

「竹の子の会」西東海支部

(TEL・FAX) 0562-84-0750 杉本宅

(18 団体 会員総数 約 7,300 名)

発行人: NPO 法人 愛知県難病団体連合会

発行所: 名古屋市市中村区本陣通 5-6-1 地域資源長屋なかむら 101

電話 052-485-6655